



不育症・不妊症に対する子宮鏡下子宮中隔切除術症例の妊娠転帰に関する検討

2011年1月1日から2022年4月30日までに日本医科大学付属病院女性診療科・産科にて子宮鏡下子宮中隔切除術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では『不育症・不妊症に対する子宮鏡下子宮中隔切除術症例の妊娠転帰に関する検討』を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2011年1月1日より2022年4月30日までに日本医科大学付属病院女性診療科・産科にて行った子宮鏡下子宮中隔切除術の有効性と安全性を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：不育症・不妊症に対する子宮鏡下子宮中隔切除術症例の妊娠転帰に関する検討

研究期間：研究実施許可日～2024年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院女性診療科・産科 助教・医員 中尾 仁彦

(2) 研究の意義、目的について

中隔子宮を有する不妊症・不育症患者さんに対する手術療法は、現在は子宮鏡下子宮中隔切除術が主流です。過去の研究においてある程度の有効性が示されているため保険収載されていますが、明確な有効性・安全性はまだ世界中で議論がなされています。当院は本邦の中でも多くの手術実績があり、本研究により有効性の証明と安全性の確認や、こういった患者さんの場合に効果的であるかを明確にするために役立つと考えております。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

この研究は、2011年1月1日より2022年4月30日までにこの手術を受けた患者さんのカルテから情報収集を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、身長、体重、既往歴、術前と術後の子宮の評価、採血による不妊症・不育症の原因検索結果、出産後の状況等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院女性診療科・産科 助教・医員 中尾 仁彦

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：25665

メールアドレス：kimihiko@nms.ac.jp